



- 1) 宿泊ホテルは自由（下記に「ホテル情報」）
- 2) 会場は料亭「濱長」<https://www.k-hamacho.com/> 「土佐のお座敷遊び」体験付き
- 3) アドバイザー講座：「装丁デザイン・本文レイアウトについて」（リーブル出版島村氏）
- 4) 記念講演；現在調整中

◎ホテル情報：ビジネスホテルなら中心街アーケードの「ドーミーイン」や「リッチモンドホテル」をオススメしますが、もう少し高級なところなら「城西館」（天皇陛下がお泊りになった）「OM07高知 by 星野リゾート」（旧 ホテル日航高知旭ロイヤル）「ザクラウンパレス新阪急」など。

\_\_\_\_\_

## 2. お知らせ … 政策秘書の要件 自費出版認めず

\_\_\_\_\_

上記の見出しで日経新聞（2/20朝刊）に記事が掲載されました。記事によりますと、衆議院は2024年度から国会議員の政策秘書になるための審査要件を見直すとのこと。

要件の一つに定める「専門分野の著書」があり、その著書は自費出版を認めないという内容です。

その理由は、「衆院は著書に関してこれまで自費出版も認めてきたものの、弊害も目立つようになってきた。生成AIが自然な日本語を使えるようになってきたことで、受験者本人が書いた文章かを見抜くことが難しくなっていると指摘がある。

出版社が発行する本は第三者である編集者の目を通すため、なりすまし防止へ一定の歯止めとなる」と記されている。

参議院ではすでに自費出版本を専門分野の著書として認めていないとのこと。

自費出版＝「編集者の目を通していない」と決めつけていることに、抗議したい会員も声も出ています。

\_\_\_\_\_

## 3. お知らせ … 奈良県立図書館で3/19から自費出版入選・入賞作品展

\_\_\_\_\_

岩根副代表理事の提案で始まった、日本自費出版文化賞の入選・入賞作品展が、滋賀県の図書館から奈良県立図書館に広がりました。第26回日本自費出版文化賞大賞作品の『墨に五彩あり-墨の不思議な魅力-』の著者 綿谷正之の講演会も3/20に行われるこの企画は大賞作品を制作した京阪奈情報教育出版（代表は当会の住田理事）の尽力によるものです。

<https://www.library.pref.nara.jp/event/4258>

\_\_\_\_\_

☆ 自費出版事情… ～会員便り～No.75

\_\_\_\_\_

地元書店との協業で自費出版拡大を目指す

株式会社クナウパブリッシング  
高原 淳

書店の減少に歯止めがかからず、地域の読書文化、出版文化が衰退するのではないかと危機感を抱いています。

このため、地元の有力書店、（株）ザ・本屋さんと業務提携を結び、自費出版全般にわたる協業を開始しました。

具体的には両社共同で営業し、当社が制作・出版、出版後はザ・本屋さん店頭でコーナーを設け展示または販売するというもの。

今後は自費出版講座、トークイベント、パネル展などを企画予定。ザ・本屋さんは営業収入が得られ、当社にとっては受注につながるWIN-WINの関係です。  
「地域の読書・出版文化を豊かにする」という理念を伝えながら、自費出版拡大に取り組んでいきたいと考えています。

昨年末にはブックレット「周年記念誌の作り方」を発行しました。  
現在、周年を迎える企業、団体、学校に向けて提案に動いています。当社が雑誌づくりを通じて培ってきた取材、執筆、編集ノウハウを活用し、読み応えのある記念誌づくりをサポートします。(写真添付)  
また、世の中全体がペーパーレスへ向かっていることもあり、電子書籍やスマホアプリによる自費出版にも対応する態勢を整えているところです。(写真添付)

□□ \_\_\_\_\_ □□

☆ 知っとこ高知 その 10

□□ \_\_\_\_\_ □□

### 料亭「濱長」

今回、総会・懇親会の会場となる料亭「濱長（はまちょう）」は、高知では誰もが知る土佐のお座敷遊びが楽しめる老舗です。  
歴史の流れの中で、芸妓さんを抱える料亭は姿を消し、とくに橋本大二郎知事の時代に「官官接待」が禁止され、「濱長」も平成13年には半世紀以上続いた幕を一旦は閉じました。  
しかし、多くの根強いファンの声に押され、土佐のお座敷文化の伝統を守るべく平成19年に再開。コロナ禍にも負けず、元気に営業されています。  
当日の懇親会でどれくらいやってもらえるか分かりませんが、土佐のお座敷遊びをいくつか紹介します。

#### 1、 箸拳（はしけん）

お箸を使ったじゃんけんのような遊び。手に隠し持っている箸の数を表情などを読み取りながら当てるゲーム。負けた方が飲まされます。丁々発止の駆け引きなど周りで見ている人も相撲を見るように楽しめます。

#### 2、 菊の花

お酒のロシアルーレット。お盆に伏せた盃を返していき、菊の花が入っている盃を当てた人はそれまでに返した盃の数だけ飲まされるという、お酒が飲めない人にとっては地獄のようなゲームですが、周りの飲みたい人や芸妓さんが助けてくれるはずです。

#### 3、 しばてん踊り

カッパに似た男の子の妖怪「しばてん」が人を見ると「おんちゃん相撲とろう、とろうちや」と誘う様子を歌に乗せて踊ります。

「しばてん手ぬぐい」で顔を覆うとあら不思議、なぜか踊りたくなります。

#### 4、 可盃（べくはい）

可愛い朱塗りの丸盆に陶器の天狗・ひよっとこ・おかめの「盃」と六角、面ごとに盃の絵柄が描かれた可愛い「独楽」これが「可盃セット」。

「おべろべろの～ 神様は 正直な神様よ♪ ○○のほうへと おもむきやね おもむきやね～」と独楽を回し、止まった先の延長線上に居る人が「当たり」です。

「当たりの人」は、独楽の出した絵柄の盃でお酒を一気に飲まねばなりません。

天狗の盃は鼻が長かったり、ひよっとこの盃は穴が開いていたり、どれも飲み干すまで卓に置けない盃ばかり。

そんなに怖がることはありません（笑）土佐人は楽しくお酒が飲みただけなのです。

リーブル出版（株式会社リーブル）  
代表取締役 坂本 圭一朗

\*\*\*\*\*

### ★あとかぎ

5月24日の高知全国大会の会場が決まりましたね。  
その「濱長」のご紹介も坂本さまよりいただきした。

